



第8回 臨床研究・治験四国協議会の開催

臨床研究支援センター

8月19日、かがわ国際会議場にて第8回臨床研究・治験四国協議会が開催されました。本会は臨床研究・治験の推進を図るための学術集会として、四国4大学病院が連携し毎年開催しています。第8回目となる今回は、四国内外の医療機関等から約100名の参加者を迎えて香川県での開催となりました。



ワークショップでは「経験をつなげよう、人とつながろう」をテーマに、国際共同試験の支援や臨床研究法施行に向けた体制整備などを焦点に参加者間で情報共有や活発な意見交換が行われました。また「臨床研究法施行後の倫理委員会のあり方」と「MID-NETデータを活用した医薬品安全対策と本格運用に向けた取組み」を演題として2つの講演も行われました。四国地区の臨床研究・治験のさらなる推進に向けての課題や方策を検討する有意義な機会となりました。



がん患者サロン開催しました。

がん相談支援センター

平成29年7月に三崎めぐみ音楽療法士による特別講演会、「歌は心のビタミン剤」を開催しました。懐かしい歌を歌い、若くて健康な昔の自分に戻ることで脳の海馬を活性化させる効果や、使わない筋肉を使うこと、大きな声で歌うことによって肺を鍛えることができる等のお話をはさみながら、参加者全員でマラカスを使ったり体を動かしたりしながら全13曲(古い曲や演歌や歌謡曲、童謡など)を楽しく歌いました。

がん相談支援センターでは、患者さんやその家族の集いの場として、奇数月の第3木曜日に「がん患者サロン」を偶数月の第3木曜日には「がんカフェ」を開催しております。



がん治療の際には口腔ケアを!

歯・顎・口腔外科 准教授 大林 由美子

がんと診断され治療に臨む過程では、多くの情報を集め、気持ちの整理をし、納得できる選択をする必要に迫られます。治療に伴う重要な情報としてがん治療による口腔合併症があります。まず、全身麻酔での手術は人工呼吸器のチューブを口から気管へ入れます。その際にグラグラする歯が抜けてしまったり、歯の破折が起こったりすることがあります。手術前に口腔を歯科でチェックしてもらってください。また、口腔は体の中で細菌が最も多い所です。口腔の大量の細菌が人工呼吸器のチューブを伝って気管に入ることがあると、術後に誤嚥性肺炎などの感染症を引き起こすことがあります。がんの手術後は身体的にも精神的にも大変な時期ですが、肺炎に罹患するとさらに治療が長引きます。手術前の専門的口腔ケアによって細菌数を減らすことによって誤嚥性肺炎の予防ができます。

抗がん剤治療や放射線療法では口内炎の発生が40-100%程度と報告されています。口内炎の傷から口腔細菌が血液中に入ると熱が出ることもあり、口腔細菌による感染症を引き起こすと抗がん剤の投与量を減量せざるを得ないことがあります。成人の80%以上が罹患している歯周炎によっても、歯周ポケットから口腔細菌が血液中に入ることがありますし、また歯が浮いたような違和感が生じることがあります。口腔の細菌数を少ない状態に維持することがこのような合併症を軽減することにつながります。歯科での専門的口腔ケアで細菌数は減少しますが、それと同時に自分で清潔にしていなくてすぐに細菌は増殖します。最も重要な事は自分での歯磨き等のセルフケアです。

口腔合併症が悪化し、がん治療の延期や中断となると治療の成功率に影響します。がん治療を継続するために、1.可能なかぎり、がん治療の前に歯科を受診する。2.がん治療中も口腔内を清潔に保つこと、が重要です。口腔合併症が出現した場合にがん治療中だからと言って歯科を敬遠しては、がん治療に影響が出ます。全国でがん患者さんのお口のケアをサポートする医科歯科連携事業を行っており、当院でも入院中の専門的口腔ケアを行っています。香川県のがん診療連携拠点病院では退院後も継続した口腔ケアを行えるように香川県歯科医師会と連携しています。

防災訓練(大規模災害訓練)の実施報告について

管理課

平成29年度の医学部地区防災訓練を、10月17日(火)に実施しました。



今年も、例年1日で行っていたものを2日に分け、訓練内容の充実を図りました。

今回は、南海トラフ大地震が発生し、震度5強を観測したとの想定で、「学生の避難訓練」、「災害拠点病院として大規模災害における防災訓練(災害対策本部設置訓練、トリアージ訓練)」を行い、災害に対する意識の高揚を図り、「チーム医学部」として安全性の向上と地域防災医療の質的向上を目指して実施しました。

当日は、教職員と学生を合わせて約600名が参加し、地域の病院との連携した訓練など、有意義な訓練を行うことができました。

なお、11月21日には、「病院火災を想定した避難誘導訓練」、「消火器操作訓練及び煙体験」を実施する予定です。

今後も訓練結果を踏まえ、「if ~ we can !」どんな時でも対応できるよう「防災力の強化」に努めたいと思います。



▲災害対策本部訓練



▲トリアージ訓練



▲学生の避難訓練

2012年の胃がん罹患率は、男性では1番目、女性では乳腺、大腸に続いて3番目に多いがんです。胃がんで亡くなる人の割合は年々減ってきていますが、部位別のがん死亡率では、男性で2番目、女性では3番目に高いがんであり、依然、日本人にとって重要な疾患の一つと言えます（国立がん研究センターがん対策情報センターHPより）。

日本人に多い胃がんですが、何が発生に関わっているのでしょうか？胃がんの危険因子について説明します。

ヘリコバクター・ピロリ菌（以後 **ピロリ菌**）ってご存知でしょうか？**ピロリ菌**の持続感染は胃がんの確実な危険因子です。**ピロリ菌**の感染によって引き起こされる慢性炎症は、発がんに関係していると考えられています。その**ピロリ菌**ですが、1週間の内服治療で除菌することが可能です。胃カメラの検査を受けて、**ピロリ菌**の感染が証明された人は、除菌することをお勧めします。

環境要因も大きく関与しており、「**高い塩分の含まれる食事**」の摂取、「**喫煙**」は危険要因であることが知られています。一方、野菜や果物の摂取は、予防要因とされています。塩分は控えめで、果物、野菜が不足しない食生活を心がけることは重要だと思われます。

胃がんの治療には、手術（胃切除）、内視鏡的治療（胃カメラで病変のみ切除）、化学療法（抗がん剤など）の3つが中心で、日本胃癌学会が編集した胃癌治療ガイドラインを基本として、病期（病気の進行状況）、患者さんの全身状態によって治療内容を決定します。

1. 胃切除術

切除可能な胃がんの標準的な治療は手術です。

胃がんの手術では、腫瘍（がん）の切除だけでなく、転移のしやすいリンパ節（領域リンパ節）の郭清、食べ物の通り道を作る再建を含めた手術が必要です。手術方法には「腹腔鏡手術」と「開腹手術」がありますが、当院では患者さんの体に負担の少ない、「腹腔鏡手術」を積極的にを行っています。

2. 腹腔鏡手術

早期がんと、一部の進行がんに対して行っています。

腹腔鏡手術ではお腹に数箇所（5mm～20mm程度）から行うため、従来の開腹手術（15～20cmの創で行う）に比べて創が小さいため、手術後の痛みが少なく、回復も早く、手術後10日前後で退院となります。現在、胃がんの腹腔鏡手術は完全鏡視下手術を行っており、病変部の切除後に行う再建術も腹腔鏡下に行うことで、より傷が小さく低侵襲な手術の提供が可能となりました。



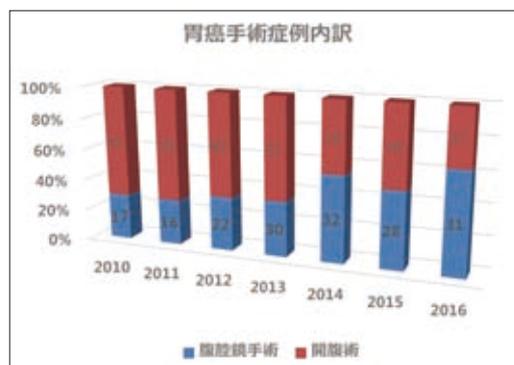
▲腹腔鏡手術(左)と開腹術(右)の創部

3. 開腹手術

進行がんに対しては、開腹手術を行っています。

腹腔鏡手術と違って、手術による傷は15～20cmと大きくなりますが、麻酔科とも連携し、以前に比べ術後の痛みの軽減が可能になっています。退院までの日数も腹腔鏡手術と差はありません。

手術方法は、胃がんの位置により胃の出口側2/3の切除する「幽門側胃切除」や「胃全摘」、を行っています。進行がんの場合、より治癒率を向上させる目的で、手術前や、手術後に化学療法（抗がん剤治療）を行うこともあります。



▲当院での胃癌手術件数

第10回香川県がん診療連携協議会を開催

医療支援室

平成29年8月31日(木)香川県社会福祉総合センターにおいて「第10回香川県がん診療連携協議会」が開催されました。この協議会は、都道府県がん診療連携拠点病院である本院を中心に、県内の地域がん診療連携拠点病院(香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、三豊総合病院)、香川県及び香川県医師会、四国こどもとおとなの医療センターが香川県におけるがん診療連携の強化及びがん医療の均てん化の推進を目的とし、毎年開催しています。



協議会では、横見瀬病院長が議長・進行を務め、ハローワーク高松と香川産業保健総合支援センターから、がん患者の就労支援、両立支援の実施報告があり、各部会(地域連携・パス、院内がん登録、相談支援、緩和医療、研修・教育、情報・広報)から、平成28年度の事業実施報告がありました。また、香川県より、第2次香川県がん対策推進計画の進捗状況及び第3次香川県がん対策推進計画の骨子について報告がありました。

今後も県内での連携を強化し、がん医療の水準の向上を目指すことを確認し、閉会しました。

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H29.11~12月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
11/2 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:食生活見直しませんか? 医師:未定	臨床栄養部	(087)891-2066
11/11 土	14:00~16:00	高松テルサ	肝疾患市民公開講座	地域連携室	(087)891-2363
11/16 木	14:00~15:10	西1階 臨床栄養部研修室	【糖尿病教室】管理栄養士:手ばかりを確認しよう 検査技師:糖尿病のお薬について	臨床栄養部	(087)891-2066
11/16 木	14:00~16:00	西病棟1階カンファレンスルーム	がん患者サロン 日本折紙協会香川支部講師による「折紙療法」	がん相談支援センター	(087)891-2473
11/26 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさめき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「がん治療の夜明け-新時代治療のはじまり-」	総務課	(087)891-2008
11/26 27 28 月 火 水	12:00~ 8:30~ 8:30~	JRホテルクレメント高松 サポートホール高松	第35回日本脳腫瘍学会学術集会	脳神経外科	(087)891-2207
11/30 木	17:30~19:00	レクザムホール(香川県民ホール) 小ホール棟4F「大会議室」	日本皮膚科学会第61回香川地方会	皮膚科	(087)891-2162
12/7 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:食生活を振り返ってみよう! 医師:未定	臨床栄養部	(087)891-2066
12/10 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさめき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「内視鏡でみえる・なおる胃腸の早期がん」	総務課	(087)891-2008
12/21 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:年末年始の過ごし方 歯科衛生士:歯周病は糖尿病の第6の合併症	臨床栄養部	(087)891-2066

イキイキさめき健康塾

香川大学医学部附属病院 医療セミナー

高松市内で定期的に開催している医療セミナー「イキイキさめき健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、田中(看護)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]